



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760



ロータリーの心を
Rotary International

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1997-'98

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 犬飼栄輝

事務所 〒450 名古屋市中村区名駅1-2-4 名鉄グランドホテル14階417号室

TEL 052-561-0020 FAX 052-561-0021



1997.10.20 No.5

ロータリー財団月間[11月]



財団にロータリーの心を

1997～'98年度 国際ロータリー第2760地区

ガバナー 犬飼 栄輝

秋たけなわ、ベストシーズンを迎えました。

日本各地では、一斉にロータリー地区大会が開かれています。私どもの第2760地区でも、きたる11月8、9日と田原町で今年最大の地区イベント・97-98年度地区大会を開催します。

グレンW・キンロスRI会長は、この地区大会に会長ご夫妻の代理として第2540地区パストガバナー今井篤様、とよ様ご夫妻を指名されました。

今井様にはご多用のなか愛知県までご来篤たまり、親しくご指導いただくことになっています。

さて11月はロータリー財団月間です。再三申し上げていますが、今年度のRIテーマは

SHOW ROTARY CARES「ロータリーの心を」であります。キンロス会長は先ず飢餓と貧困をこの地球上からなくすこと、そのためには具体的な行動で「ロータリーの心を」示し、他地区のクラブとも協同して、草の根レベルで社会的病根とたたかうことを強く要請されています。

ロータリー財団への協力による財団プログラムへの参加は、この要請に直接応える効果的な方法の一つです。

財団のプログラムの主なものは次のとおりです。

- ポリオプラス ○国際親善奨学金
- 開発途上国で奉仕する大学教員の為の補助金
- ロータリー平和プログラム
- 研究グループ交換-G.S.E
- 人道的な国際奉仕プロジェクトの為の補助金
- 保健、飢餓追放および人間性尊重3H補助金
- ロータリーボランティア補助金
- 世界社会奉仕カール・ミラー助成金

ご承知のとおり1947年ポール・ハリス氏が逝去された時、このロータリーの創始者を悼み、世界中のロータリアンから財団に寄付が寄せられ、その翌年財団は初めてのプログラムとして、7カ国18人の学生に大学院課程の奨学金を交付しました。

1970～80年代には、ロータリー財団への寄付は劇的に増加し、これにともなって財団プログラムも逐次拡大、発展してきました。

そして最近の大きな変化は、シェア・システム

のスタートです。すなわち一般寄付の40%は国際財団活動資金(WF)となりますが、60%は地区財団活動資金(DDF)として分割され、3年後には条件にかなった地区プログラムのため「支出」使用されることになりました。

しかしわが国ではこの財団補助制度の理解がまだ充分でなく、申請の割合が世界的にみても低いようです。地区の財団委員会では更によく勉強し、各RCのアイデアに具体的にお応えする態勢をつくりたいと思います。

1984年から始まったポリオプラスは、ロータリー100周年を迎える2005年に、ポリオの絶滅を期しています。1988年には世界中で3.5万件を数えていたポリオ発生の報告が、96年には約4千件に減少し、いよいよ正念場を迎えました。この活動にはロータリークラブのほか、日本政府の援助も非常に大きな役割を果たしています。

飢餓や貧困といえば、私たちは何となく遠い国のことのように思いますが、決してそうではありません。江戸時代から明治、大正、昭和30年頃までの日本の庶民生活は飢餓や不況、災害や戦争のため文字どおり「おしん」の時代が続いたことを忘れてはなりません。私たちが飢餓や貧困からようやく解放されて、まだ40年ほどたっているだけです。もちろんわが国の今日の繁栄は、戦後の平和の持続と民主主義や自由経済のたまものであり、お互い日本人の勤勉と創意工夫の成果であると思います。

時代の変化と共に、これからはロータリー財団の活動内容も変わってくるでしょう。

キンロス会長のSHOW ROTARY CARESの意味を今一度原点に帰って考えてみたいと思います。

それは地球市民としての責任感——幅広い人類愛のアピールではないでしょうか。私たちはいろいろな財団プロジェクトの善意と努力に共感するが故に、財団に新しい協力をし、大きな期待をかけています。

ロータリー財団を更に支援することにより「ロータリーの心」を示していただきますようお願いいたします。

ロータリー財団月間に寄せて

地区ロータリー財団委員会
委員長 矢島 茂



11月は、世界中のロータリークラブがR財団の知識とその活動について、ロータリアンのご理解を深めていただく特別月間であります。

R財団の使命は、奉仕の理想に結ばれたロータリアンの世界的親交によって、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、世界理解と友好平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することです。この活動源は、すべてのロータリアンから提出された寄付金とロータリアンの奉仕活動によって成り立っています。

ご承知のとおり、1994～95プログラム年度からシェア・システムとなり、年次寄付の40%は国際財団活動資金（WF）、60%は地区財団活動資金（D.D.F）となりました。皆様からの浄財は、3年間資産として運用された後、地区とクラブさらに地区・クラブでできることを超えた、次のような財団プログラムに全額支出されます。

人道的プログラムの中には、人道的な国際プロジェクトのための同額補助金（上限5万ドル）、3H補助金（上限50万ドルで財団本部のプログラム）、ヘルピング・グラント（上限1万5千ドル）、ロータリー・ボランティア補助金（1名に付3千ドル）、世界社会奉仕カール・ミラー助成金（上限5千ドル）、新人道的補助金（上限1万ドル）、災害救援補助金（上限5千ドル）、ロータリー平和プログラム（上限4万ドル）、そしてポリオ・プラス・パートナープロジェクトがあり、地区とクラブ独自の提出金とD.D.Fからの配分に加えてWFからの補助金・助成金によって運用されています。

教育的プログラムは、国際親善奨学金が中心であり、他地区への寄贈を含んで1998～99プログラム年

度は、1学年奨学金（上限2万2千ドル）、マルチ・2年、3年奨学金（1年に付1万1千ドル）、ジャパン奨学金9ヵ月と12ヵ月（2万5千ドルと2万9千ドル）、開発途上国で奉仕する大学教員5ヵ月と10ヵ月（1万ドルと2万ドル）並びに追加G.S.E（1万2千ドル）があり、それぞれD.D.Fから配分され、その他大口寄付者が使途を指定する冠名奨学金があります。

文化交流プログラムは、G.S.Eであり、WFから航空運賃が支給される他、プログラム強化のためG.S.E 語学研修助成金が1998～99年度から新設され、D.D.Fから500ドル配分した場合、WFから1,000ドル助成されることになりました。

以上、財団プログラムは、新設を含め複雑多岐にわたり、地区財団委員会として目下調査中ではありますが、今年度の地区財団セミナーを2月4日ホテルアソシア名古屋ターミナルにて開催し、詳細ご説明申し上げることに致します。

さて、今年度当地区の寄付目標は、年次寄付を会員1人当たり110ドル、恒久基金を会員50人当たり1名のベネファクターであります。

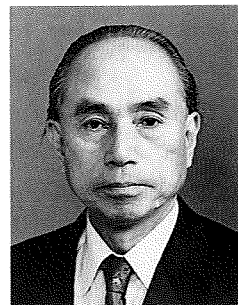
世界を見渡すとき、まだまだ私たちの援助を待ち望んでいる人々が沢山いることに気がきます。

世界理解と友好の増進に寄与する国際親善奨学金は、国際時代の新世代の育成を行います。

また、当地区としては17年ぶりにG.S.Eをブラジル第4430地区と交換することになりました。

世界理解と友好平和を達成しようとする国際ロータリーを支援する財団プログラムのご理解を賜り、今年度寄付目標の達成を心からお願い申し上げます。

1998～'99年度 奨学生を送るに当たって



地区財団奨学金(小)委員会
委員長 長谷川 二郎

ロータリアンの皆様には日頃から財団奨学生の推薦を始めとし、奨学生への御援助、御指導に対し心からお礼申し上げます。

1998～'99年度の奨学生も素晴らしい人材を選考することができました。去る7月27日にこれら奨学生のためのガイダンスを行いました。矢島財団委員長の司会のもとに開催されましたが、とくに犬飼ガバナー、奥谷パストガバナー(財団カウンセラー)、宮崎地区副幹事(ロータリー財団担当)の御出席も得ましたことは私達はもとより奨学生にとっても大変有り難いことでした。一方、そのこともあってか奨学生の方々は当初緊張気味でしたが次第に打ち解け本人からの質問、先輩学友からのアドバイスなど時間が不足するほどでありました。

外国留学は昨今ではめずらしいことではありませんが、ロータリー財団奨学生は国際親善使節としての役割を担っており、まさに日本人としての品位、学識を身につけた人として選ばれているのですから、その責務はきわめて大きなものです。奨学生の方々がそれぞれの国の文化を学ぶだけでなく、日本の文化を伝える意気込みをもって頂きたいと願う次第です。

毎年、奨学生を送り出しているのですが、帰国された方々の報告が大きな楽しみでもあります。どうか各クラブにおかれましても奨学生、学友とできる限り触れ合いの機会を多くもって頂きたいと存じます。また、より素晴らしい人材を奨学生として御推薦頂きたくお願い申し上げます。

1997～'98年度 研究グループ交換 (G.S.E)

- ブラジル・サンパウロ派遣メンバー近く決定。
- ブラジル・グループの受入れは、尾張、名古屋、三河の3地区に別れ、各RCに協力要請。
- 派遣メンバー激励団(ブラジル観光団)を送り込む。

地区研究グループ交換(小)委員会
委員長 松前 憲典



第5回G.S.E委員会は、9月20日、名鉄グランドホテル12Fで、15:00～17:00まで開催し、表記議題を中心に協議致しました。

1. 派遣メンバーの推薦について
地区内のRCより、数名の派遣メンバーの推薦をいただきました。書綴を整備し、選考委員会で近く決定予定。
2. リーダーの選任について
適任者ロータリアン1名を要請中。
3. 受入れ体制について
ブラジル・グループの受入れは、1998年4月～5月で、尾張、名古屋、三河の3地区に別れ、各分区代理さんと各RCに協力を要請。
4. 派遣メンバー激励団(ブラジル観光団)
派遣中に開催される第4430地区の地区大会(5/21～24)の日程に合わせ、当地区からブラジル派遣メンバーの激励団(約1週間)を送りこむこと

を確認致しました。

今年度犬飼ガバナーは、新世代育成の一環として、ロータリー財団の「研究グループ交換G.S.E」をブラジル第4430地区(サンパウロ)のガバナー、モリ・カズヒロ(森和弘)氏と組み、実施することをアナハイムでの国際協議会で確認されました。

G.S.Eの実施は、

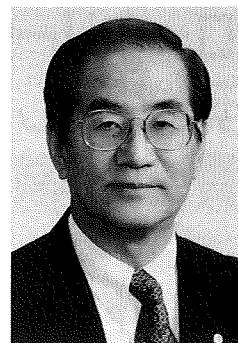
日本グループ派遣 1998年5月～6月4週間の予定。
(サンパウロ地区大会5/21～24)

ブラジルグループの受入れ 1998年4月～5月。

日本とブラジル両国は、一昨年修好100周年を迎え、友好な親善関係にあります。先般日本の天皇、皇后両陛下がブラジルを訪問され、大歓迎を受けられました。私共第2760地区G.S.E委員会は先日ブラジル・サンパウロ地区のG.S.E委員会と事前打合せを致しました。成功するよう万全を期しております。ご協力、ご支援の程よろしくお願い致します。

21世紀 ポリオ撲滅にむけて (ポリオ その闘いの経過と問題点)

地区ポリオプラス(小)委員会
委員長 酒井 孝



1988年 ポリオプラスで2億4千7百万ドルの募金を達成したロータリーは、W.H.O.ユニセフ等と協力し、ワクチンの全国一斉投与(N.I.D.)等、21世紀までに地球上から野性ポリオ・ウイルス駆逐に向かってさまざまな活動をしています。

その結果、1980年免疫接種率20%が10年後の1990年には80%と飛躍的に向上しました。

ロータリーは発展途上国のワクチンを希望する国へ、ポリオ・ワクチンを提供する当初の誓約を果たし、さらにN.I.D.を遂行にあたっては、世界の各国にさまざまなネットワークを持ったロータリアンの献身的な努力があればこそ可能になるのです。しかしこれは多額の費用とそれに係わる大勢の人々が必要です。以下はその活動の概要です。

- ・ 1993年 W.H.O.はロータリーのポリオプラスに対し、最高の賞である「Health for All」を贈呈。
- ・ 1994年 R.I.とその他の機構は南北アメリカ大陸のポリオ撲滅を宣言。
- ・ 1995年 中国、インドでN.I.D.を実施し6,500万人の子供にワクチンを投与。インドネシアの17,000余の島の子供2,200万人にワクチンを投与。
この年、51ヶ国、3億人にワクチン投与。
- ・ 民族紛争の中でユーゴスラビアに準N.I.D.を実施。全アフリカで「Kick Polio Out of Africa」のキャンペーンとN.I.D.を実施。
ミャンマーで520万の子供にN.I.D.。キューバではメキシコのロータリアンの支援でN.I.D.を。
国際ロータリーは児童ワクチン・イニシャティブから「ジェナー賞」を受賞。
- ・ 1997年 ネルソン・マンデラ大統領がロータリー最

高の栄誉である国際理解賞を受賞。これは「Kick Polio Out of Africa」のリーダーとして評価されたもの。またサッカーのワールド・カップのアフリカ予選で試合場のグラウンドにD-2760地区から贈られた「Kick Polio Out of Africa」の巨大なバナーが多勢の子供達の手で運び込まれディスプレイされました。アフガニスタンでは各々が「平穏な日々」を申し合わせ、内戦を一時停止して360万人の子供にN.I.D.を実施。アフガニスタンはポリオの補助を受けた118番目の国になり、世界中でロータリーが投じた補助金の総額は28,700万ドルに上ります。そしてポリオ無発生国は154ヶ国に拡大、ポリオ監視ネットワークに報告された発生人数は1981年66,052人、1996年末には4,040人に減少しています。しかしこれは正式に届けられた数字で実際にはその10倍はあるといわれます。

N.I.D.実施についての問題点。

- ・ この地球上から完全にポリオを駆逐しないかぎり、今迄の巨大な投資が無駄になる。
- ・ 多くの発展途上国の頼りない保健機構。
- ・ 戦争、内乱、その他国連との関係が良くいっていないイラク、北朝鮮等の国への実施
- ・ 難民、遊牧民に2回のN.I.D.に参加させることの難しさ。
- ・ 未識字の人々にN.I.D.の重要性を理解させること。

最後に我々もこのポリオ・プラスの運動が新世紀を担う10億人の子供の健康を守ることを十分に理解し、20世紀の終尾を飾るこの大事業に係わりを持ったことを誇りとし、今後のご支援を期待いたします。

ロータリー財団 奨学生としての 貴重な体験

地区財団学友会(小)委員会
委員長 梅村 東



毎年ロータリアンの皆様のご協力により当地区より世界各地にロータリー親善大使として財団奨学生の皆さんを送り出しています。現在'97～'98年度奨学生14名がそれぞれの留学先で勉強をされており、一方'98～'99年度奨学生は来年の出発に向けて準備をしています。又、今夏留学生生活を終えて無事帰国された'96～'97年度奨学生の皆さんは大任を終えて“ほっと”されている事と思いますが、その中から帰国報告を頂いた磯村明子さん（イタリー留学、ホストクラブ・フィレンツェ・ブルネレスキRC、スポンサークラブ・豊橋ゴールデンRC）のリポートをご紹介します。

帰国報告書 1997年9月1日 磯村明子

1) 教育機関

拝啓、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。私は1997年7月31日無事イタリアから帰国致しました。1学年度ロータリー奨学生として、フィレンツェ大学の文学哲学科に通いました。大学では単科コースを選択し、ヒューマニズム文学と15世紀の哲学（フィチーノが中心）についての授業を聴講しました。日本ですでに、大学院修士課程を卒業していたので、当大学では学位を取得していません。研究テーマ“ルネサンス期の教育”を深めるうえで、大変参考になる授業でした。

2) 生活

生活面についてですが、私は語学学校が斡旋してくれたホームステイ先に10ヵ月間、お世話になりま

した。1人部屋、風呂、トイレなどの居住設備は申し分ありませんでした。ホームステイ先の85歳のおばあちゃんが、朝食は作ってくれ、昼食、夕食は自炊していました。外国暮らしでは健康第一なので、バランスのとれた食事をするように心がけました。なおイタリアで10ヵ月生活するうえで、奨学金は十分な金額でした。

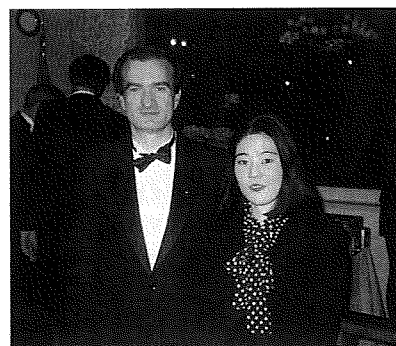
3) ロータリーと国際理解

① 語学力が親善使節としての役割の效果に及ぼす影響

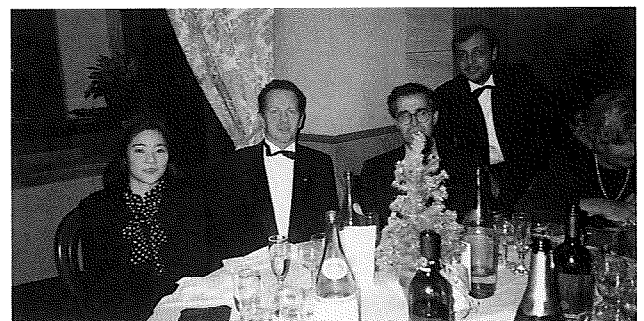
最初の数ヵ月は、イタリアでの生活にまだ慣れておらず、文化の違い、国民性の違い、習慣の違いにとまどうことがしばしばでしたが、語学力が向上するにしたがって、そういう違いに対して、現地の人達に素直に質問する事ができるようになり、日本との違いについて意見を交換する事ができるようになりました。

② 留学国の人々の私への対応

町の観光名所やブランド街にいる観光客としての日本人は見慣れていても、大学のキャンパスで見かける留学生としての日本人、町の中心街以外で見かける住民らしき日本人は珍しいのか、好奇心にみちた視線を向けられることがしばしばありました。はじめの数ヵ月はその視線が不愉快でなりませんでした。が、彼らのそういった視線も悪気があるどころか、



ジュリオ・ボルギ氏と
クリスマスパーティーにて



同じテーブルにいたロータリアンの方々

逆に興味をもってくれているゆえのものだということに気づくことができました。それ以来、自分が外国人なのだということを過度に意識することなくなり、逆にそういう反応を示す人達に積極的に話しかけるようにしました。

③顧問ロータリアンから受けた指導、援助

顧問ロータリアンでありフィレンツェ・ブルネレスキ・ロータリークラブの会長であったジュリオ・ボルギ氏は、私がフィレンツェに着いた直後、家に招待して下さり、イタリアで生活するうえで注意すべき点を説明してくれるなどとても親切でした。また、年に一度のビッグイベントのクリスマス・パーティー（1996年12月21日）をはじめ、度々ロータリークラブの例会（1997年6月16日、30日）に招待して下さり、フィレンツェ・ブルネレスキ・ロータリークラブのロータリアンと親交を深めることができました。1997年5月30日から6月1日には、フィレンツェで第2070の地区大会があり、6月1日には私たち奨学生も参加し、簡単な自己紹介を致しました。

④ロータリー財団奨学生として、ホスト国、ホスト・ロータリー・クラブおよび地区に与えた影響

ロータリー財団奨学生として、ホスト・ロータリー・クラブや地区大会に参加し、自己紹介したり講演することにより、ロータリアンのなかには日本に興味を抱き個人的に家に招待して下さった夫妻がいました。外国人の私たちがイタリアの一般家庭に混ぜてもらい、家族の一員のように接してもらうということは、簡単なことのように実はなかなか体験できないことです。私はそういった雰囲気の中かで、イタリアの日常生活を知ることができ、日本について紹介することができたような気がします。

⑤どのようにして、ひきつづき国際理解とロータリー財団および国際ロータリーの理想の推進に寄与するつもりか。

日本を離れることで、はじめて自国を客観視し、日本の批判すべき点、日本ならではの良さを実感する事ができました。わたしにとって“国際親善”とは、柔軟な心と頭で、お互いの良い点を参考にしあ

って、お互いの国にとってプラスになるように協力しあうことなのではないかと思います。私は、語学力の向上と自分の研究をさらに深めるために、ひきつづきもう一年イタリアで勉強することに致しました。帰国後は、日本ではまだマイナーなイタリア語を教えたり、研究の成果を発表することで、日本にイタリアの文化や歴史を紹介できたらと思っています。

⑥帰国後、親善使節としての体験をテーマに行なった講演

帰国後、豊橋ゴールドン・ロータリークラブの例会（1997年7月9日）に招待していただき、イタリアでの留学生活について簡単に講演を致しました。

4) 意見

①ロータリー財団奨学金プログラムについての所見、提案

ホスト・ロータリー・クラブの例会には数回招待されましたが、日本のスポンサー・ロータリー・クラブについて紹介したり、自分の町について説明する機会がなかったので、今後は例会の時間内にわずかでも、そういった時間を作ってもらえたらと思います。

②将来の奨学金受領者のための提案

（学校の手配について）イタリアの大学へ単科コースで留学する場合、日本を発つ前に、受講したい授業の担当者の教授、講師（最低2名）に自己紹介の手紙を書き、聴講許可の手紙をあらかじめ受領しておくことをお勧めします。

この10ヵ月、ロータリー財団奨学生として、とても貴重な体験をさせていただきました。日本を離れて、はじめて見えてくるものがたくさんありました。これからも私なりのかたちで、国際交流に努めるつもりです。皆様のご支援に心からお礼を申し上げます。皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

●名古屋名東ロータリークラブ



●平成9年8月26日
●名古屋国際ホテル

●会長／須賀 康夫
●幹事／塚田 昌夫
●会員数／82名

過日、名古屋千種ロータリークラブと私共の名古屋名東ロータリークラブの二つのクラブが合同でガバナー公式訪問を受けました。

当日は両クラブのメンバーは初めての経験のためか、お互いに少し硬い表情でしたが、すぐに和やかな雰囲気になり大変楽しい例会になりました。

ペアになった名古屋千種ロータリークラブに対しては、今まで以上に親近感が強くなりました。

毎年ペアになるクラブを組み変えてこのような合同例会をおこなえば有意義だと思います。

●名古屋千種ロータリークラブ

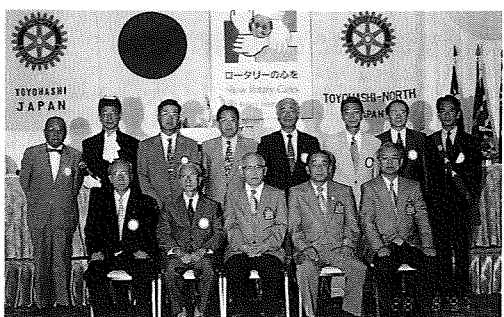


●平成9年8月26日
●名古屋国際ホテル

●会長／松居 敬二
●幹事／鈴木 理之
●会員数／68名

新リーダーシップのもと、名東RCとの共同開催による公式訪問はガバナーの考えを感じつつ、和やかな雰囲気で行われました。会長幹事協議会では当クラブの現状を理解しておられ、クラブの発展は会員増強にありと指摘されました。例会スピーチの中では広報活動の重要性とロータリアンは先づ自分の仕事が第一であるとのお話を受け、お考えが大変良く理解できました。又、分区代理の年度内2度の訪問は、我々として今年度計画を達成するよう更なる決意をしました。ご指導の程お願い致します。

●豊橋ロータリークラブ



●平成9年8月28日
●豊橋グランドホテル

●会長／磯村 直英
●幹事／黒谷 尚弘
●会員数／132名

豊橋クラブ、豊橋北クラブ210名の会員で、犬飼ガバナーをお迎えし、短い時間でしたが充実した公式訪問の例会でありました。

今年になって会長エレクト研修セミナー・地区協議会・地区役員と会長・幹事の懇談会等、ガバナーと接する機会がありました。

その都度、色々など高説を拝聴し、そしてお人柄に触れてまいりましたが、今回の公式訪問においてもその卓越した見識と豊かなお人柄に会員一同、大変感銘を受けているところでございます。

●豊橋北ロータリークラブ



●平成9年8月28日
●豊橋グランドホテル

●会長／早川 憲幸
●幹事／坂柳 猛興
●会員数／113名

新リーダーシッププランに基づくガバナー公式訪問が取り入れられ、従来と違った公式訪問は合理的であり、且つ時間的にみても無駄がなく普通例会と変わらず、会員の皆様の御意見もこの形式は好評でありました。

私共のクラブは親クラブの豊橋クラブとの合同による例会であり、運営面でも大いに気をつかいましたが、特に問題点としては「大人数のための会場の問題」それぞれの「例会の方式の違い」等が今後の課題として残るかと思いますが、両クラブでの協調によりクリアでき盛会のうちに終わることができました。これからの公式訪問の一つの形としては大いに歓迎されると思います。

●津島ロータリークラブ

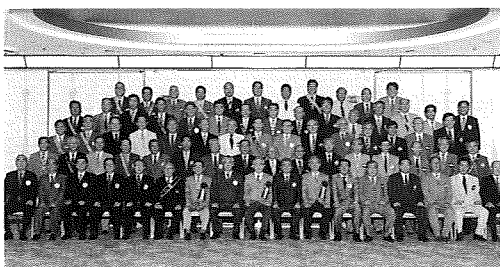


●平成9年8月29日
●名鉄グランドホテル

●会長／岡田 和彦
●幹事／梶浦 興蔵
●会員数／87名

公式訪問によって、直接犬飼ガバナーより教えを受けることは、非常に有意義であります。今年度は2クラブ合同でしたので、少し時間が短いように思いました。私達がガバナーと直接お話しをするチャンスはなかなかありませんので、このような機会はありがたく、その上、親密感を感じています。今年度のテーマは、日頃私が感じていることです。最近、若者の事件が多く見られ、教育・しつけ・子育て食事の取り方・ルールを守ることなど考え直すことが必要ではないでしょうか。他国の飢餓を耳にしますが、日本は豊富ですので、他の事が目に入らないのでしょうか。特に、インターアクトの人は、よく考えてみて下さい。

●あまロータリークラブ



●平成9年8月29日
●名鉄グランドホテル

●会長／熊沢 登
●幹事／渡辺 均
●会員数／102名

津島RCとの合同公式訪問も盛況のうちに終了した、あまRC。熊沢会長は、その後シカゴとインディアナポリスへ出かけ、創始者ポール・ハリス氏の墓参とR.I.本部訪問。本部では、キンロス会長とレーシ次期会長にそれぞれの執務室で会い、来年6月のインディアナポリスでの再会を約束して帰国。

来月号では、公式訪問報告とあわせて、R.I.本部訪問の様子も報告していただく予定です。

●名古屋中ロータリークラブ



●平成9年9月1日
●名古屋観光ホテル

●会長／杉浦 正康
●幹事／樺木 正雄
●会員数／163名

9月1日名古屋観光ホテルに於て大須・栄両RCとの3クラブ合同夜間例会の形式で犬飼ガバナーの公式訪問を戴きました。例会に先立ち「協議会」が行われましたが、「中クラブは大変明るく楽しいクラブで良い活動をしていると聞いてます」と励ましのお言葉を戴きさらに会員増強に力を入れるように等のご指導を賜りました。

例会場でのガバナーのお話しの最後には星野富弘氏の「鈴の鳴る道」の中の詩を朗読されながらロータリアンの奉仕の在り方について情熱的に訴えられ会員に大きな感銘を与えました。協議会・例会を通じてニューリーダーシッププラン実践の一つの大きな成果を感じました。

●名古屋大須ロータリークラブ



●平成9年9月1日
●名古屋観光ホテル

●会長／平田 節也
●幹事／堀江 英弥
●会員数／100名

14年目を迎えた当クラブは、会長テーマ、「手と手、心と心の結びつき」のもと、メンバー1人1人が楽しくロータリーライフが送れるよう努めると共に、当クラブのカラーとして「若い夢ある若人と国際交流を一層深めよう」と青少年交換活動を軸に外国との交流し、国際大会に積極的に参加するなど、地域社会は勿論のこと、国際間でも手と手を結び、大きな輪を広げるよう努めています。

●名古屋栄ロータリークラブ



●平成9年9月1日
●名古屋観光ホテル

●会長／小林 英雄
●幹事／殿谷 忠俊
●会員数／80名

犬飼ガバナー大変ありがとうございました。

初めての試みであり、どうなるものと少なからず心配しましたが、犬飼ガバナーはじめ、地区役員の温かいご指導と、設営の中心となっていた中ロータリーの皆様、大須、栄ロータリーの皆様の協力の和によって、大変有意義な、実りある、公式訪問をうけることができました。

このようなすばらしいガバナー公式訪問の成果を、今後の栄ロータリーの活動や運営面で実らせていくよう精一杯みんなで努力していきたいと思っています。

●名古屋和合ロータリークラブ



●平成9年9月3日
●ホテルナゴヤキャッスル

●会長／富島 照男
●幹事／安井 隆豊
●会員数／110名

「個性と知恵を出し合って、楽しいクラブ運営を！」—親和と向上をめざして—

これが創立26周年の我が名古屋和合R.Cのテーマである。それぞれの委員会で、「ワンコミッティ、プラスワン」の新鮮味を出す工夫をしながら、お互いが「親しんで和す」と共に、会員それぞれの「向上」につなげたい。

9月3日のガバナー訪問は子クラブの名古屋東山R.Cと合同で行われ、大変暖い雰囲気の中にも、犬飼ガバナーの御人柄に魅せられました。

●名古屋東山ロータリークラブ



●平成9年9月3日
●ホテルナゴヤキャッスル

●会長／中井 靖雄
●幹事／高橋 宗敬
●会員数／54名

去る9月3日、犬飼ガバナー、山田名古屋第二分区代理、片山地区幹事をお迎えし、名古屋和合RCとの合同例会が開催されました。

当日は、久しぶりに親クラブの皆様とお会いすることができ、親元に里帰りした様なホッとした気分のなかで、楽しく例会を過ごさせて頂きました。

会長・幹事協議会では犬飼ガバナーより、「貴クラブは生まれたての純真なクラブであり、若さと活力に溢れたクラブ作りを期待している」との心暖まる励ましを頂きました。

会員一同、ガバナーの意義深いお話を拝聴しつつ、決意を新たにしました。

●一宮ロータリークラブ



●平成9年9月4日
●一宮商工会議所

●会長／小早川 泰三
●幹事／鎌田 芳彰
●会員数／94名

戦後始めて認証された一宮RCは、歴史と伝統のあるクラブですが、活動の原点は、あくまで出席にあると考察いたします。チャーターメンバーと新入会員が同じテーブルに就いて、話題を一つにする喜びは、何物に変えることはできません。

本年度は、親睦と奉仕を両輪として、複数委員会の合同プロジェクト、ロータリー財団への寄与率の向上と会員増強を重点項目と致しております。

●尾西ロータリークラブ



●平成9年9月4日
●一宮商工会議所

●会長／吉田 民雄
●幹事／藤田 銀吾
●会員数／62名

9月4日(木)残暑きびしき日合同公式訪問例会を開催いたし会場は一宮商工会議所3階にて実施。一宮RC小早川会長、鎌田幹事両氏のきめ細かな打合せ準備のおかげで例会も順調に進み紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。例会場は駅前にて大変便利なところですが道路工事のため駐車スペース不足のため尾西より貸切りバスにて参加いたしました。次年度にはこの不便も解消されるものと思います。一宮クラブの皆さんとの友情親交も出来大変意義のある合同例会でありました。犬飼ガバナーの含蓄あるお話を承り今後のロータリー活動に意欲を感じました。今後より一層ガバナーよりのご指導をお願いいたします。

●豊川ロータリークラブ



●平成9年9月10日
●豊川商工会議所

●会長／石黒 坦史
●幹事／陶山 嘉伸
●会員数／80名

新リーダーシッププランにより新しく始った合同での公式訪問となり、私共は兄弟クラブである豊川宝飯RCと一緒に犬飼ガバナーをお迎えしての例会となりました。常々、一緒になって行動している事もありまして、別に違和感もなくスムーズに運営もでき、犬飼ガバナーのお人柄のにじみでた感銘深いご挨拶の中に、会員一同引きこまれてしまい、時の経つのも忘れてしまったような有意義なガバナーの公式訪問でした。2クラブ一緒のことゆえ、時間を特例として長くすべきであったと反省しております。

●豊川宝飯ロータリークラブ



●平成9年9月10日
●豊川商工会議所

●会長／内藤 泰通
●幹事／太岩 一仁
●会員数／67名

このたび9月10日、犬飼ガバナーをお迎えし2クラブ合同で公式訪問を無事終える事ができ、ありがとうございました。例会前には奉仕活動について懇談し、活動方針に基づきご指導を賜りました。講話の中で会員増強の問題、ロータリーの活動のPR、職業奉仕問題など、たいへんわかりやすくご指導を頂き、当クラブ会員も十分理解できたことと思います。ロータリアンの奉仕の精神は思いやりの心であるということを、改めて認識を致しました。

ガバナーより当クラブに対して身に余る評価を頂き、ご指導頂きました事を今後の活動に全力を尽くしたいと思っております。

●常滑ロータリークラブ



●平成9年9月12日
●知多市勤労文化会館

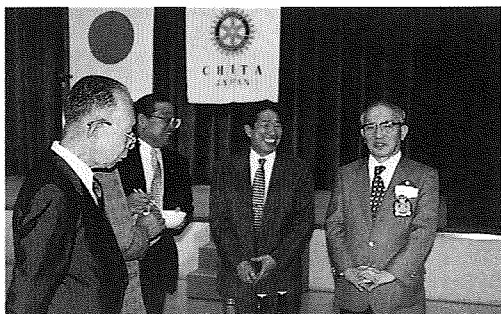
●会長／鈴木 信嘉
●幹事／山本 一晴
●会員数／72名

ニューリーダーシッププランによるガバナー公式訪問をお受けして、最初は戸惑いがありましたが、知多RCとの綿密な連絡打ち合わせにより、完璧に実施できました。例会と懇親会を夫々の責任で分担したのが良かったと思います。

公式訪問の成否はそれに先立つ分区代理訪問の結果に左右されます。河合分区代理には(Ⓢ)をさしあげます。勿論犬飼ガバナーにおいてお也。

今後、同じ方式の公式訪問を継続されることを希望します。

●知多ロータリークラブ



●平成9年9月12日
●知多市勤労文化会館

●会長／早川 佳教
●幹事／鈴木 鉦直
●会員数／49名

9月12日、常滑RCをホストとして知多RCとの合同夜間例会が開催され、犬飼ガバナー、河合分区代理、伴地区副幹事が訪問されました。ガバナーとの協議会、合同例会では時宜を得た御指導を賜り、緊張の中にも和やかに進行することができました。また、その後の懇親会では、ガバナーとのあるいは常滑・知多両クラブの会員相互の親睦がはかられ、大いに盛り上がりしました。

知多RCは今年十周年を迎えますが、さらにその先十年を目ざし、クラブが発展し、元気印の二重丸がいただけるよう頑張っていきたいと思っております。

●西尾ロータリークラブ



●平成9年9月16日
●西尾平安殿

●会長／岡田 四郎
●幹事／杉浦 澄雄
●会員数／76名

今回の合同例会は厳粛な中にも和やかに行うことができました。犬飼栄輝ガバナーの卓話は大変素晴らしいものでした。合同例会後の懇親会ではガバナーのお心遣いにより楽しく有意義で、クラブ間の親睦と連帯感を更に深めることが出来ました。

●西尾KIRARAロータリークラブ



●平成9年9月16日
●西尾平安殿

●会長／杉浦 武
●幹事／榊原 清太郎
●会員数／72名

3クラブ合同例会前のクラブ別協議会では、短時間の中でガバナーから和やかな雰囲気を作って頂き、特に我々若いクラブに大きな期待をかけられ、リラックスした気分で対話させて頂き、改めてクラブ方針の実践に自信を持つことが出来ました。

又例会スピーチではロータリアンの心の持ち方を和やかな言葉で御指導頂き、感銘致しました。

後半の懇親会では、我々クラブの若いメンバーにも直接話しかけられ、親しみ深い一時でありました。今後共、公式訪問はこのような企画を継承されんことを期待致します。

●一色ロータリークラブ



●平成9年9月16日
●西尾平安殿

●会長／長田 治
●幹事／倉治 正義
●会員数／51名

例会にさきだつ会長・幹事協議会ではクラブおよび各委員会の重点事業につき直接、的確にご指導いただきました。

例会では、明治時代に、近代化の遅れを明治の人の頑張りを取り戻したことに深い敬意を表わされ、その後の日本の歴史の誤まりを指摘されました。最後に、星野富弘さんの生きざまと詩を紹介され、全会員に感動を与えられました。

懇親会では、全テーブルを回られ、杯を交わされたことは会員一同の喜びでありました。

温かい歓迎に感謝

- 名古屋東南RC
- 名古屋名南RC
- 名古屋中RC
- 名古屋栄RC
- 名古屋大須RC
- 名古屋西南RC
- 名古屋港RC
- 名古屋RC

名古屋第一分区分代理
堀田 逞二



8月7日の名古屋東南クラブを皮切りとして始まった分区分代理訪問も、順調に消化して、9月末日までに、8クラブを了えることが出来た。丁度3分の2を終えたことになる。

公式なクラブ訪問も、クラブ協議会も初めての経験で、正に緊張の連続であったが、訪問するクラブの予期せざる温かい歓迎に、むしろ戸惑いを感じたほどである。

訪ねるクラブは、誠に千差万別で、さまざまである。会員数、平均年齢、クラブの歴史、活動の内容、等々、それぞれに特色があり大変勉強になる。

特色中の特色と云えば、やはり女性会員の有無であろう。名古屋名南、名古屋西南の両クラブは女性会員をそれぞれ13名、8名、擁し、誠に清新の気がただよう。例会場へ入った途端に感ずる和やかなムードは、やはり女性がかもし出す特別な雰囲気である。

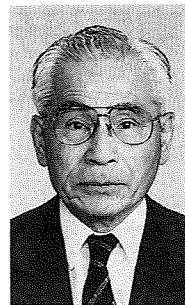
女性会員問題は既に長い時間を経過して来た。古いクラブほど入会を拒み続けている。その理由は定かではないが、もしその理由が稀薄なものであるならば、一寸した、きっかけで直ぐ互解する筈である。

男性は兎角、見栄張りである。女性の前では、絶対に恥をかきたくないという心理が働く。男性だけの集りに、安らぎを覚える所以である。

訪問したクラブの殆どが、女性の入会に対し、将来に向ってとは考慮すると弁解する。直ぐ受入れられる用意があるとは云わない。本当に考慮するかどうか、一寸あやしいが、一応は前向きの姿勢は示しているようである。

「ニューリーダーシッププラン」の元に 分区分内のクラブを訪問して

名古屋第二分区分代理
山田 静夫



平成9年9月30日(火)をもって、10クラブの内9クラブの訪問を終了させて頂きました。何分グリーンブレザーコート、ネクタイ着用をしての毎日、緊張の連続でした。

訪問日の挨拶と「アツセンブリー」に分けまして、挨拶に関しましては、「ニューリーダーシッププラン」の内容のご理解に終始徹底しようと努力はしてみました。しかしクラブ会長のご意向など異り、挨拶時間の10分～30分間の差こそあれ、現在のプランに対する立場を充分把握された方から、その受け取り方に差のあったことを、私なりに感じました。話術の拙劣さから、すべて私自身の勉強をさせて頂きました。

次いで「アツセンブリー」ですが、私としては、クラブ計画書を作成された各委員長を、尊重いたしまして、再度内容を確認していただくことで、望みました。下半期に入り、成功率の高い完成度を、私なりに期待して。

しかし、ロータリ歴の差には、それぞれワンクラブ、ワンカラーのあることを、肌で感じました。そして今年は地区の各委員長会議によって、各クラブの委員長が、ご理解されての発言には、協議会中、しばしばその効果を感じ、又私自身も出席させていただき、勉強させて頂きました。

最後に、私自身の不勉強を恥じると共に、反省又反省の連続でありましたことを、付記させていただきます。

東尾張分区の輝き (全クラブ会長賞に挑戦)

東尾張分区代理
早川 八郎



東尾張分区は、名古屋市の北東部に位置して、未だ、みどりや山川の自然が残るめぐまれた環境にあります。

2005年国際博覧会々場に決定した、炎と土のまち瀬戸RC、空と陸の玄関、空港と名神、中央・東名道路、日本最古の国宝犬山城と国際交流のまち犬山RCまで岐阜県境に背接して長くつづく里山にかこまれた分区です。

その尾張の地にそれぞれ独自の文化を有する町があり、その地の人々が集い芽ばえた10クラブは歴史と伝統に輝き、元気で特色のある名門クラブばかりです。

管理運営面では、名古屋RCの流れと一宮RCの流れとの2つの顔を持っています。

8月4日、名古屋空港RCを最初に10クラブの分区代理訪問を始めました。各クラブ共、クラブ協議会の予定時間も大巾に延長して大変熱心に有意義な協議会ばかりでした。

特に、我が分区の誇りは、瀬戸RC亀井勝会長、犬山RC丹羽俊夫会長、江南RC伊藤鶴吉会長、小牧RC服部智教会長、尾張旭RC大竹薫会長、名古屋空港RC三治明会長、瀬戸北RC野田英男会長、岩倉RC中村賢三会長、豊山城北RC安藤克己会長、春日井RC奥村昭幸会長の全会長が、グレンW、キンロスRI会長のプログラム、1997-'98年度会長賞に挑戦して、ロータリーの心を示すことです。

アメリカから直輸入したロータリーより立派に育てあげられるかどうかは、会長のリーダーシップと、ロータリアン一人一人の奉仕活動にあると教えてくれました。

緊張の初分区訪問

●豊田東RC
●豊田RC

西三河第一分区代理
有馬 惟夫



西三河第一分区の訪問は車の町豊田市より始まりました。第一回目と云うことで緊張の連続でした。さる9月10日豊田東RCに行きました。到着いたしましたときに林会長柴田幹事始め役員の皆様にあたたかくお迎えいただき気持ちがほっとなごみ会長幹事懇談会に入りました。チャーターメンバーである林会長はロータリーへの思い入れが大きく特に豊田東区域のクラブ運営進展へ熱心に取り組んでいらっしゃる気持ちにふれとても感動致しました。例会終了後クラブ協議会に入り各委員長諸兄から活発な委員会活動について報告をいただき私自身とても勉強になりました。97名のメンバー皆様の活動が手にとる様に判りました。

続いて9月11日豊田RCに分区訪問をいたしました。創立38年と云う豊田地区一番のベテランクラブであります。永野会長杉本幹事のあたたかなお迎えをいただき新米の私の心を明るく開いていただきました。会長幹事懇談会では、永野会長のリーダーシップにより歴史あるクラブを活性化しようとする心がまえがうかがわれました。例会場では第一例会のみおこなわない豊田RC式4のテストを特別にご披露いただきリーダーが朗読し冥想し自戒いたしました。両クラブ共にさすが伝統のあるクラブ、私自身見習うべきところが多くあり有意義な分区訪問でありました。両クラブの方々には大変なる歓迎をいただき無事分区代理訪問が出来ましたことご協力の賜と感謝致しております。

雑誌『ロータリーの友』のいっそうの普及を

地区ロータリーの友委員会

委員長 種村 桂介



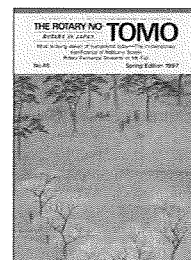
- 月初めの例会で内容報告を
- 英語版ロータリーの友(年2回刊500円)の購読を全RCで

'97地区雑誌委員長会議開催

日時：平成9年8月30日(土) 11:30~13:30

会場：名鉄グランドホテル

76クラブ中70クラブ出席



8月30日(土)、'97雑誌委員長会議が開催されました。東京より雑誌ロータリーの友編集長別所直實氏を講師に迎え、ガバナー、分区代理、地区幹事、副幹事参加のもと、各クラブより雑誌委員長が出席いたしました。

当日のスケジュールは

- 11:30~ 犬飼栄輝ガバナー挨拶
『ロータリーの友普及の為に』
- 11:40~12:30 ロータリーの友 編集長 別所直實氏 講演
『ロータリーの友編集こぼれ話』
- 12:30~13:00 昼食
- 13:00~13:30 質疑
まとめ

でした。

◎犬飼栄輝ガバナーは『ロータリーの友はロータリー活動の要であり、すべての活動の集大成であり、ロータリーの友を読むこと』の重要性を力をこめて挨拶されました。

◎ロータリーの友編集長別所直實氏は昨年のRI雑誌委員長会議で日本の「ロータリーの友」誌の素晴らしさが賞賛され、会議の冒頭でその秘訣、編集方法を発表するよう指名されたことを明らかにしました。

そして誌名「ロータリーの友」命名のエピソード、横組み、縦組みの誌面になった経緯など創刊当初の模様について触れ、「ロータリーの友」への積極的な投稿、何よりも読むことの大切さを訴えられました。

また『英語版ロータリーの友』誌の購読についても、年2回刊で1回500円であること、日本のロータリー活動を知ってもらう上で外国へのお土産に最適であるこ

となど大いに活用してほしいと結ばれました。

◎昼食後の質疑では片山主水地区幹事から「各RCでその月の最初の例会でロータリーの友誌の内容紹介を雑誌委員長が必ず行なっていただきたい」旨の報告があり、その為に雑誌委員長はロータリーの友が誰よりも早く届くよう、ロータリーの友編集室に申込みよう提案がありました。

質疑ではロータリーの友の普及状況、原稿の採用基準などありました。

◎「まとめ」は

1. 毎日、月初めの例会で雑誌委員長が、必ず3~5分「ロータリーの友」誌の内容紹介を行なうこと。
2. 「ロータリーの友英語版」を全RCで購読すること。
購読数0のクラブをなくし、積極的に活用すること。
の2点が確認されました。

地区全体の雑誌委員長会議は、この十余年間で初めての開催であり、雑誌委員会の役割が明確になり、意義深い会議となりました。



「新世代のためのロータリー園遊会」

お力添えありがとうございました。

地区青少年活動委員会

委員長 加藤 正男

9月15日、ガバナー主宰行事として当地区で初めて開催された「新世代のためのロータリー園遊会」は、お陰様にてまことに有意義かつ盛大なイベントとなりました。まずもってご支援を賜りました関係ロータリアンズ各位及び各クラブ事務局の皆様に対し心よりお礼申し上げます。

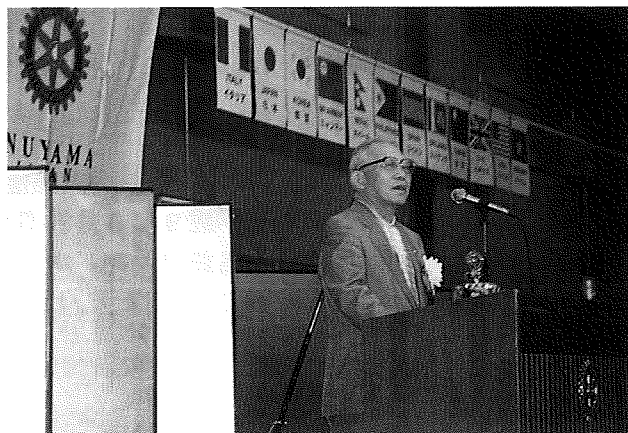
当日朝は台風19号が接近中という厳しい天候ではありましたが、午前11時の受付開始時には、名鉄犬山ホテル2階の広いロビーが当初の予想を大幅にオーバーする総勢500名の参加者で埋り、今更ながらロータリースピリットのすばらしさを目の当たりにいたしました。

11時30分、エレクトーンの軽快なリズムと共にガバナー旗に先導されて犬飼栄輝ガバナー、石田芳弘犬山市長がご入場。鈴木孝則地区青少年活動副委員長の司会進行によりレセプションが始りました。

犬飼ガバナーによる点鐘、犬山RC丹羽俊夫会長の開会のことばに続いて、石田市長からは「新世代に期待して」という主旨のお話と共に今回のイベントに対し「さすがはロータリー」と賞賛のお言葉をいただきました。次に犬飼ガバナーよりまず園遊会参加の外国からの留学生に



レセプション



犬飼ガバナーの明治村についての卓話

対するあたたかいおことばのあと、「博物館明治村」にまつわる大変貴重な卓話があり、最後に正田稔名鉄観光取締役支配人から明治村コースについてのブリーフィングが行われました。

犬飼ガバナーの音頭による特別出席者を交えての乾杯で始まったパーティーは、名鉄犬山ホテルの豪華メニューを楽しみながら文字通り新世代とロータリアンズの交流の広場となりました。パーティーを締めくくって地区ローターアクト江村公一代表から新世代参加者を代表してのごあいさつのあと犬飼ガバナーより明治村の小冊子が新世代参加者各人に贈られました。

パーティーに引き続いて行われた明治村ガイド付き特別ツアーでは、名鉄観光の社員の皆様に大変お世話になりました。

参加者が明治村に到着するころには雨もやみ、一同美しく洗われた緑に囲まれ雄大なスケールを誇る村内のツアーを楽しみました。コースの終点は浪漫亭、ここでは名鉄観光の社員の方々が明治調の装いと共に接待をして下さり、最後に新世代参加者一人一人に対し犬飼ガバナーより明治村の絵はがきのプレゼントが行われました。

ロータリー活動の原点は各クラブの活動です。今回の企画に地区内すべてのクラブがご参加下さいましたこと、又各クラブ毎に新世代参加者を交え、まことになごやかなひとときが実りましたことを心より嬉しく存じます。

今回のイベントに参加された新世代関係者は下記の通り日本を含む24ヶ国の方々、合計152名に及びました。

記

- ・ロータリー財団奨学生・留学生 10名
 - ・米山奨学会留学生 33名
 - ・米山学友会メンバーズ 20名
 - ・新世代交換学生 15名
 - ・インターアクトクラブ 37名
 - ・ローターアクトクラブ 32名
-
- ・豊田三好RC交換留学生 2名
 - ・守山ボランタリークラブ 2名
 - ・米山奨学生友人 1名

5月24日名古屋キャッスルホテルにおける地区協議会での発表を皮切りに、当企画を進めるにあたり本当に多くの方々にご協力を賜りました。

企画実行本部・犬飼ガバナー、片山地区幹事、宮崎地区副幹事、パストガバナーのみなさん、企画グループの要としてご活躍いただきました国際奉仕・青少年交換・財団・米山奨学会・米山学友会・青少年活動・IAC・RAC各委員会の



犬飼ガバナーと特別出席者の方々



元気いっぱいの新世代参加者



新世代とロータリアンズの交流

みなさん、ホストRCとして特別なご協力をいただきました丹羽会長はじめ犬山RCのみなさん、そして全クラブからの出席を実現して下さいました地区内76クラブの会長・青少年活動委員長の皆様にあつくお礼申し上げます。ありがとうございました。

ローターアクトの日、清掃活動を終えて ＜名古屋ゾーン＞

ゾーン代理 野口 貴久 (東海RAC)



澄渡る青い空となった9月21日、ローターアクトの清掃活動の日がやってきました。今年の名古屋ゾーンは、東海市の中心部に位置する大池公園の清掃を行いました。参加人数は、ロータリアン22名、アクター41名と予想以上の参加者が集まり皆様の社会奉仕に対する関心の高さを感じました。

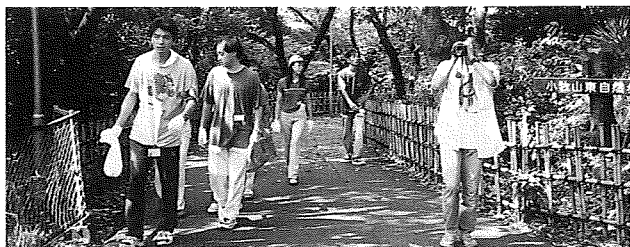
さて、清掃内容はといいますと、公園内のゴミ拾いをしたのですが、管理されている公園なのでそれほどゴミは多くないと思っていたのですが、集まって来たゴミの多さにビックリ、ざっと普通のゴミ袋にして50袋も集まりました。

その日は、日中の気温が28℃にもなった大変暑い日だったので、さぞかし疲れたことでしょう。ご苦労さまでした。また、清掃中でもお互いに声をかけ合うことで親睦行事とは異なる親睦もできることを私自身感じました。

ゲームをとりいれた清掃活動

＜尾張ゾーン＞

ゾーン代理 寺川 詳二 (小牧RAC)



今年度の尾張ゾーンローターアクトの日は、9月7日、小牧市の小牧山にて開催いたしました。当日は雨が心配されましたが、なんとか天気も回復し、足元の悪い中、多数の皆様に参加いただきました。アクトの日の内容としましては、2コース4班に別れ、小牧山の清掃を行いながら、

ゲームに参加してもらいました。各コース、数ヶ所のチェックポイントが用意されており、チームごとにサイコロを振って出た目のチェックポイントまで進み、そのポイントごとに環境問題やレクリエーション問題をやっていただきました。そしてゴミの量と問題の正解数により、優勝を決めました。今回の清掃活動をゲーム方式にしたことにより、チームごとの親睦や、環境の知識が多少なりとも深まったことと思います。

今回の清掃で、約10袋のゴミを回収いたしました。そしてこの活動が、地元の新聞、小牧くらしのニュースに掲載されました。

ウミガメを守るため海岸をきれいに

＜三河ゾーン＞

ゾーン代理 鈴木 茂典 (田原RAC)



今回の三河ゾーン「ローターアクトの日」は、海岸での清掃活動を通して、ウミガメについてみんなに知ってもらいたいと思いホストしました。当日は外での作業ということで天候が非常に気になり、朝方は曇りで喜んだのですが、いざ作業を始める時になって晴れてしまいました。参加者はロータリアン5名、アクター37名で、その暑い中を海岸までの往復を歩き、作業をしたのでみなさん大変だったと思います。ゴミは思っていた以上にたくさんあり、特にカメがエサと間違えて食べてしまうビニール袋がたくさんあったのには驚きました。最初は元気のなかったみんなも、だんだん熱くなってきて、終わりとゆうまで真剣に拾ってくれました。海岸の一部しかきれいにできませんでしたが、遊びに来ていた人たちにもアピールできたと思います。

ウミガメの勉強をする時間はなくなりましたが、これからもみんなが海岸をきれいにすることを気にかけてもらえたらと思います。



第3回JGFR名古屋大会

実行委員長 上村 晋也 (名古屋和合R.C.)

日本ロータリー親睦ゴルフ
I.M・懇親会会



1997年9月8日(月)、9日(火)の二日間、JGFRの大会が当地区、名古屋和合R.C.のホストで盛大に開催されました。

JGFRという言葉になじみのうすい人が多いので、JGFRの事について少し触れてみたいと思います。RIの組織の一部であり35年前に創設されたIGFR (International Golfing Fellowship of Rotarians) の支持組織として1987年、日本にJGFR (全日本ロータリー親睦ゴルフ会) というものが出来、この10年間で34~35回の大会を日本各地で開催してまいりました。日本全国のR.C.からゴルフを通じて親睦を深め、友情をつちかい、ロータリー情報交換等を目的にロータリアンが一堂に会する大会で、当地区では昨年の名古屋中R.C.のホストに次いで今年は名古屋和合R.C.が第3回JGFR名古屋大会をホストしました。

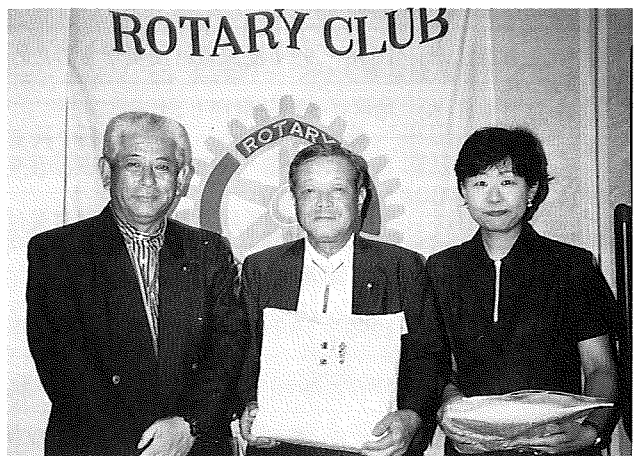
9月8日(月)にはスプリングフィールドゴルフクラブを大会会場に約200人のロータリアンが北は北海道岩内R.C.、南は沖縄那覇R.C.、22地区、67R.C.から参加され、当地区からは犬飼ガバナーはじめ盛田、加納、蜂谷各パストガバナーや片

山地区幹事にも華をそえていただき大会が開催されました。

当日、台風前線の影響でスタート前は雷と大雨で一時は中止もやむなしという雰囲気でしたが、ホストクラブ並びに関係者の祈りと執念により30分後には雨も止み、とどこうりなく無事親睦ゴルフ大会を終えました。なお、この大会で福岡県甘木R.C.の豊原宜章氏がホールインワンを達成し万人の祝福をうけました。

その後、会場をクラブハウス内に移し式典並びにI.M.を開催し、ホストクラブ富島会長の歓迎の言葉、犬飼ガバナーの挨拶にはじまり、安井信之氏のゴルフを通じての日米の差に関する卓話、そして参加者全員から集められたチャリティー募金は中日新聞社と中部経済新聞社を通じて社会福祉事業団に寄贈され、和気相合のうちに第一日目の幕を閉じました。

翌日は三好カントリー倶楽部、愛知カンツリー倶楽部(東山コース)、日本ラインゴルフ倶楽部の各ゴルフ場に分かれ懇親ゴルフを楽しみ、次回、東京での再会を約し、それぞれの帰途につきました。参加された方々にとっては大変楽しい有意義な大会でありました。



大会で優勝した渡邊洋子さん(レディースの部)、岩間俊夫さん(シニアの部)、田近良三さん(ジュニアの部)の皆さん=右から

■第2回地区諮問委員会(9月6日)開催

<協議事項>

1. 1996～'97年度 地区会計決算(案)承認の件
2. 1999～2000年度 国際ロータリー第2760地区ガバナー候補推薦の件
3. 特別事業費(新世代のためのロータリー園遊会)承認の件
4. 1998～'99年度 (内藤年度) 分区代理候補推薦の件
5. 1997～'98年度 地区大会R.I.会長代理エイド委嘱の件
6. 1997～'98年度 地区大会決議案採択の件
7. 1997～'98年度 各分区I.M.テーマとアドバイザー委嘱の件
8. 1998年規定審議会に対する当地区の提案の件
9. 1998～'99年度 ライラセミナーホスト委嘱の件

<報告事項>

1. 地区大会R.I.会長代理について
2. 地区大会 プログラム(案)
3. (財)ロータリー米山記念奨学会理事会及び評議員会報告について
4. 1997～'98年度 地区役員及び会長・幹事懇親会について
5. インターアクトクラブ海外研修旅行及び地区協議会について
6. ロータリー全国ゴルフ大会・I.M.について
7. ガバナーノミニー事務所開設について
8. 当地区の会員数と女性会員数について(7月1日現在)
9. 長野オリンピック寄付金について
10. 地区主要会議日程について(9月～12月)
11. その他

1997～'98年度 ロータリー財団委員会行事スケジュール

開催日	開催行事	開催場所
1997年 8月3日(日)	第1回地区ロータリー財団合同委員会	毎日ビル国際サロン
8月3日(日)	1998～'99年度派遣新財団奨学生のためのガイダンス	毎日ビル国際サロン
10月7日(火)	アジアゾーン財団セミナー	札幌パークホテル
10月20日(月)	1999～2000年度財団奨学生募集予告ポスター配布	
11月9日(日)	地区大会にて新財団奨学生の紹介	トヨタ自動車田原工場田原バース
12月4日(木)	DDF選抜会議	名鉄グランドホテル18Fアイリス
1998年 1月19日(月)	1999～2000年度財団奨学生募集ポスター配布	
1月25日(日)	第2回地区ロータリー財団合同委員会	毎日ビル国際サロン
1月25日(日)	1998～'99年度派遣財団奨学生のためのオリエンテーション	毎日ビル国際サロン
2月4日(水)	地区ロータリー財団セミナー	ホテルアソシア名古屋ターミナル
3月31日(火)	各クラブ1999～2000年度財団奨学生申請締切	各クラブ
4月30日(木)	ガバナー事務所同上奨学生申請書受付締切	ガバナー事務所
5月23日(土)	地区協議会ロータリー財団分科会	豊田市文化会館
5月24日(日)	1998～'99年度派遣奨学生杜行会兼学友会総会	毎日ビル国際サロン
5月30日(土)	1999～2000年度財団奨学生選考試験	愛知学院大学本部
4月～5月(4週間)	G.S.E 第4430地区(ブラジル・サンパウロ)受入	第2760地区
5月～6月(")	G.S.E 1999～2000年度秋派遣	第4430地区

第1回クラブ会員増強委員長会議

地区会員増強委員会 委員長 山田 元

去る9月18日(木)、14:00~16:00、岡崎ニューグランドホテルで犬飼ガバナー、片山幹事、鈴木東三河分区代理、有馬西三河第一分区代理、杉浦西三河第二分区代理御出席のもと各クラブより忌憚のない発表が開陳されました。

Tクラブ=103名でスタート、現在純増1名、ガイドブックにそってやる。平均年令を下げる。あと純増1名目標。平均年令を下げる為40才を7名入会必要。お願いしてまでも入会してもらわない。

Gクラブ=現在正会員37名、シニア39名合計76名、平均59.25才、昨年6名入会、退会者8名で2名減少した。目標80名、現在増員ない。10月に2名入会予定。

T.K.クラブ=40周年113名同年時118名いた。一昨年女性会員2名入会、今年も女性を追加したい。8月増強月間には1名入会した。

T.Y.クラブ=数年の間2~3名退会、現在82名。ターゲットはJC卒業者、現在推せん者はない。今年度の目標実増2名である。

Oクラブ=過疎化高齢化の地域、昨年女性会員3名入会、そのうち1名が1ヶ月後に退会、ご主人がいてむづかしい。あとの人は未亡人で会社社長、それ以降出席率向上した。会員の25%up、10名目標。対象者が60才以上多いので悩む。

T.G.クラブ=現在83名、9年目に入った。平均51.06才、退会者少ない。今年目標5名増員、女性会員を入会させたいが若いクラブの割に拒否反応あり。

T.H.クラブ=昨年出来たばかり、出発は30名、現在38名、審議中2名いる。純増3%はクリア出来る。運営上問題ない人数の45名が採算点である。現会長の目標は45名。

Oクラブ=現在124名、シニア平均約59才かなり高い。JC卒業者40才を6~7人必要。年初目標4名以上、すでに3名入会、8月増強月間で卓話で訴えた。純増目標は間違いない。女性会員については議論にならないので入会はむづかしい。

色々と各クラブより発言がありましたが各クラブともガバナーの御方針を忠実に励行し、なみなみならぬ努力をして居られました。もっと多くの発言がありましたが誌面の都合で終わります。非常に有意義な会議でした。

佐藤千壽氏のご講演を頂いて

名古屋港RC

職業奉仕委員長 石上 日出男

第2580地区のバストガバナーである佐藤千壽氏を講師にお迎えして、名古屋港RC、東海RC、名古屋西南RCの3

クラブにて、去る8月28日、名鉄ニューグランドホテルにおいて合同例会を開催致しました。

地区からは犬飼ガバナーを始めとする地区役員にもお越しいただき、盛大かつ有意義な講演会とすることができました。

佐藤千壽氏はRI文献翻訳諮問委員を努めておられ、職業奉仕、職業倫理について深く研究され、ロータリアンとしてのみならず、社会人としての生き方にまで及ぶ数多くの著作がおありです。

ご講演頂いた内容は、大要次のようでした。

ロータリー理念は4つのテストに集約され、4つのテストは、「まごころ」と「公明正大さ」に集約される。これはわれわれが社会人として如何に生きるかについての指針を示すものであり、実践哲学である。

近時、財政界においていくつかの不祥事が話題となっており、ロータリーにおいても形式化に流れている面があるが、4つのテストに示されるロータリー精神、職業倫理をロータリアンは決して見失ってはならないものである。

そして、神戸ロータリーの直木太一郎バストガバナーとの交流のお話などからは、「好意と友情」を大切にされる佐藤氏のお人柄が知られ、知性と良識とマナーとを尊重され、かつ義務を果たすというイギリス流のノブリス・オブリジェを自然に身につけて力まないお姿を感じることができ、大変深い感銘を受けました。

佐藤氏はもちろん、改めてご協力を頂いた犬飼ガバナーほか、地区役員の皆様、3クラブの会員の皆様方に厚く御礼申し上げます。



ロータリー精神、職業倫理についてお話になる佐藤千壽氏



ガバナーノミニー事務所開設のお知らせ

国際ロータリー第2760地区

ガバナーノミニー

内藤 明人 (名古屋西R.C.)

この度下記の通りガバナーノミニー事務所を開設しました。

所在地 〒450 愛知県名古屋市中村区名駅4-3-25
ホテルキャスルプラザ1402号室

TEL (052)581-2020

FAX (052)581-1133

執務時間 9:00~17:00 (土曜・日曜・祝日は休
ませて頂きます。尚、休務日は留守番
電話が設置してあります。)

新 ポール・ハリス・フェロー 8月分

氏 名 所 属 R. C.

倉地 正義	(一 色)
山下 重次	(一 色)
牧野 幸彦	(一 色)
山下 保彦	(一 色)
澤田伊三夫	(名古屋南)
伊藤 博国	(名古屋中)
長谷川正親	(名古屋中)
阿部 博	(名古屋中)
高田 正己	(名古屋中)
江口輝貢男	(名古屋中)
小林 慶基	(名古屋)
安江 幹	(名古屋)
瑞岩 戊	(名古屋)
齋藤 喜幸	(名古屋)
小島 興一	(名古屋栄)
青井 昭弘	(名古屋栄)
大山秀美智	(名古屋名南)
石井 一陽	(豊 橋 北)
稲垣 勝春	(豊 橋 北)
高倉 宣夫	(豊 橋 北)

ご寄付ありがとうございます

ロータリー財団

あま RC	(30万円)
津島 RC	(30万円)
名古屋中 RC	(30万円)
名古屋栄 RC	(US\$ 1000)
名古屋大須 RC	(20万円)

ポリオプラス活動支援資金

あま RC	(10万円)
津島 RC	(3万円)

米山記念奨学会

あま RC	(15万円)
津島 RC	(30万円)
名古屋大須 RC	(20万円)
名古屋栄 RC	(10万円)

と、それぞれご寄付いただきました。
ありがとうございます。

..... お詫びと訂正

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1997.9.20/No.4

●14ページ：広報委員長会議

7月24日 → 8月9日
誤 正

●26ページ：野村重彦、職業分類

(元歯科医) → (歯科医)
誤 正

ご迷惑をおかけいたしました。お詫びして訂正いたします。

.....

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



山本 萬美様 (岡崎南R.C.)	9月28日
小川 晃様 (刈谷R.C.)	9月28日
奥村 芳宏様 (豊田東R.C.)	10月1日
薦田 国雄様 (名古屋西R.C.)	10月2日
鳥山 幸男様 (西尾KIRARA R.C.)	10月4日

特別寄付報告書 (1997年 8 月分)

財団法人 ロータリー米山記念奨学会

理 事 長 末永 直行

第2760地区

クラブ名	クラブ扱入金額	個人扱入金額	法人扱入金額	合計	件数
あ ま	0	200,000	0	200,000	4件
犬 山	0	150,000	0	150,000	1件
小 牧	0	60,000	0	60,000	2件
名 古 屋	0	210,000	300,000	510,000	17件
名 古 屋 南	0	1,030,000	0	1,030,000	44件
名 古 屋 中	0	1,440,000	0	1,440,000	48件
名 古 屋 錦	0	600,000	0	600,000	2件
岡 崎	0	70,000	0	70,000	3件
岡 崎 東	10,411	0	0	10,411	1件
岡 崎 城 南	0	30,000	0	30,000	1件
瀬 戸	80,000	0	0	80,000	1件
豊 橋 北	12,000	30,000	0	42,000	2件
豊 橋 南	0	10,000	0	10,000	1件
豊 田	0	300,000	0	300,000	10件
合 計	102,411	4,130,000	300,000	4,532,411	

国際ロータリー第2760地区 ロータリアン各位

(財)ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリークラブ独自の国際奨学事業であり、ロータリー財団のプログラムと共に車の両輪として、ロータリーの国際奉仕活動の一翼を担ったプログラムとして展開されています。

来年度の奨学生採用人数は1,100人で、日本最大の民間奨学団体であります。外国から私費で、留学勉強に励んでいる留学生に対し何卒、ロータリアン一人一人のご理解と暖かいご支援をお願い申し上げます。

本年度の地区目標

普通寄付額会員一人当たり地区平均4,000円以上、特別寄付額合計で地区会員一人当たり平均16,000円達成のご協力をお願いいたします。

R.I.第2760地区

ガバナー 犬飼 栄輝

(財)米山記念奨学会

理 事 田中 徹

地区米山奨学委員会

委 員 長 小田 公平

瀬戸ロータリークラブ

瀬戸ロータリークラブの設立は、1959-7.20瀬戸ロータリークラブを設立すべく第一回の協議がなされたことに始まり、スポンサークラブに名古屋ロータリークラブ、特別代表には松居修造氏の決定をみました。

1959.8.26は仮クラブとして第一回例会を開催。

1960.5.15は国際ロータリー加盟認証状伝達式。

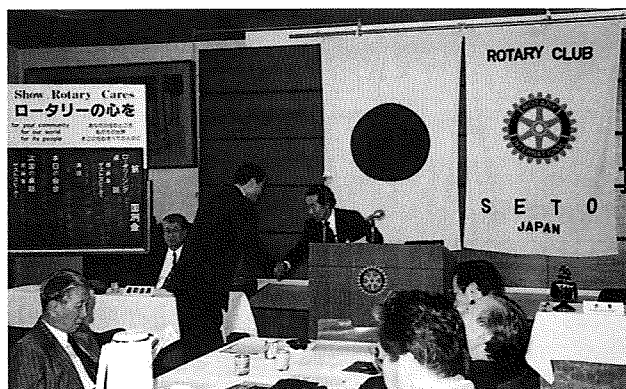
以後、尾張旭ロータリークラブ、瀬戸北ロータリークラブの設立のスポンサークラブをつとめました。当クラブ設立にあたり記念事業の一つとして瀬戸市消防署に対して救急車を寄贈、これより瀬戸市において救急業務が始まりました。

多くの事業の中で1974.6月米国イングルウッドロータリークラブと姉妹提携をむすび、両クラブの子弟による交流を進めると共に折々には両クラブのメンバーによる交流を深めています。国内においては諏訪ロータリークラブと友好クラブ提携をむすびその交流を重ねクラブ間の友好を深めることにつとめています。

社会奉仕活動としましては早くから環境問題に取りくんできました。瀬戸市東公園が整備されたことに併せて桜の苗木を植えることを三ヶ年の事業としてこれを行いました。満開の桜花を育てることも環境保全と考えてこれを行い、いつか我々の手でそだてた花の下で例会を考えています。

1995年には地球環境問題に対応すべく地域社会とのコンセンサスを深め事業を考え、環境にやさしい空き罐の潰し器を瀬戸市やすらぎ会館に設置、又昨年は地球規模の環境問題を解決する新しいエネルギーの一つとしてその普及が期待されている太陽の光を電気に変え、これを蓄電池に蓄えて夜間に点灯させる、太陽光発電街路灯を市役所玄関前に設置、多くの市民に親しまれています。

今年度は6月BIE総会において愛知県瀬戸市に



於て2005年に国際博覧会の開催が決定いたしました。これにともなって開発地の見学に大勢の方々が現地にこられ、これにともなう交通事情の悪化、又これにともなっておくる交通事故等が多く発生していることを考えて、これら事故防止のピーアールにと瀬戸ロータリークラブとの共同事業として瀬戸警察署と協力して、事故防止のための横断幕を作り、市内の最も交通量の多い所5ヶ所の歩道橋等にかかげ啓発運動につとめています。

設立以来38年を経て40周年と云う一つの目標にむかって会員の英知を集め、瀬戸ロータリークラブをオリジナリティあふれた形にして行きたいと考えます。又この40周年を契機に一段と超我的奉仕の実践に努めてゆきます。

●瀬戸ロータリークラブ

創立年月日	1959年 8月26日
RI加盟承認年月日	1959年 9月11日
認証状伝達式	1960年 5月15日
チャーターメンバー	22名〔現在2名〕
特別代表	松居修造氏
スポンサークラブ	名古屋ロータリークラブ
事務所・例会場	瀬戸商工会議所
例会時間	水曜日12:30~13:30



入会式

同好会紹介
豊橋ゴールデンロータリークラブ
美術部 <Art・Today>

会長 早川 潔



年1回の
美術展も
もう5回目

これは我が豊橋ゴールデンロータリークラブ内にある美術部の名であります。何故そんな部が当クラブにあるのでしょうか。それは初代会長故大野元三氏にあります。

初代会長は「生き生きと輝くクラブ」を胸に懷き、奇抜にも象徴的な名前を、金曜日例会・活力に満ち金色に輝く仲間ということでバタ臭ささも顧みず『ゴールデン』と勇気を以って名付けたのであります。

この名のクラブは昭和63年10月28日に豊橋ロータリークラブを親に誕生を致しました。しかし実は、その誕生の前に初代大野会長の胸に赤々と灯っていた構想があったのです。自分が会長をやるのなら、是非とも、醜い戦争のない平和そのものそして人間の素直な心を表現する手立てとして、美術に親しみ表現出来る会を創ろうという事が決定されていたのです。

クラブより早く決定を見たその会の名が「Art・Today」なのです。趣味の分野であれ、我々ロータリンであるからには、クラブ中のみならず、外へも奉仕の心を持って活動しようと夢は大きく膨んだのであります。現在この会は9年目に入り、当ロータリーメンバー22名・それ以外の方11名という構成で活動を致しております。

現在は、もっともっと美術を身近かにということで、気軽により多く会員に参加頂き、Artに親しむきっかけ創りとなることも大きな柱に据え活動を致しております。Artは1人で出来るものです。これからロータリー会員みな等しく年を取って行く中で、仲間がなくとも出来る楽しみを手にすることは人生の後半に心の豊かさをもたらし、大変意味のあることです。肉体が衰えるのは止め様ありません。しかし心の感受性を瑞瑞しく保つ事は可能なのです。何かを発見し表現することを通じて心の青春をいつまでも持ち続けたいもの

です。そうは云っても、1人で自発的に行うには随分なエネルギーが要ります。そんな大それたエネルギーを伴わず、ただ仲間が誘い、ちょっと扉を開けて覗いて見る内に、自分に合ったものを見出ればと、色んな分野を増して、気軽に気軽にとご参加を呼びかけております。

仲間では広く浅く、狭く深くは個人に任せて、現在、絵画教室・写真教室・陶芸教室そしてたまには年賀状版画教室などを、更にクラブ会員・家族の方へも呼び掛ける美術鑑賞小旅行を、Today会員による美術一泊旅行を、そして以上をまとめて年1回、自らの足跡を確認する素人発表会ではありますが「Art・Today美術展」(既に5回)を開催したりと広く浅く活動をしています。

このArt・Todayの会員から何人か市民展や中央画壇へ入賞する人が出たり、又今まで一度も焼き物などやったことのない方が、自ら創った作品に自己満足し悦に入ったり、写真の面白さをこの会に入って初めて味わい、嵌り込んだりしている人が見えることは大きな喜びであります。

1人でなかなか出来ない事も、仲間と一緒にならたいしたエネルギーなしに出来てしまいます。「牛に引かれて善光寺詣り」であります。楽しみを発見し自ら豊かになるきっかけ作りが出来ればと今後も活動して行きたいと思っております。



焼き物に挑戦



クラブ会員、家族も
一緒に旅行や、部員
の旅行など多彩な美術活動

ロータリーとPHP

ガバナー 犬飼 栄輝

立山連峯からのぼる朝日は、紫色の空をたちまち黄金色に染めあげました。

去る9月22日に富山市内で第16回PHP友の会全国大会が開かれました。PHPというのはPeace & Happiness Through Prosperityの頭文字で「物心両面の調和のある豊かさによって平和と幸福を」という意味です。

ご承知のとおり、これは故松下幸之助氏が提唱された「素直な心になる運動」です。

素直というのは、なんでも「ハイハイ」と柔順に他人に従うことではありません。

先ず偏見や先入観を持たないで、他人の話をよく聞くことです。

PHP友の会の「五つのちかい」をご紹介しますよう。

- 進んで人の話を聞く心を養いましょう
- 人に甘えず 自主的に考え 自分で行動しましょう
- 公私のケジメ 時間のケジメをつけましょう
- お互いの約束事は 必ず守りましょう
- 人に親切にし 思いやりの心をもってお互いに話し合いましょう

これは松下さんが長年かかって築いた経営哲学のエッセンスです。単純なようですが、その奥は大変深いと思います。私たちのビジネスから、対人関係、家庭生活、それに奉仕の精神にまで至る人生の規範と言えるでしょう。

切り口は全くちがいますが、何となくロータリーの「四つのテスト」を思い出させます。

PHP友の会の会員には、ロータリアンの方もぜひ分みえます。富山での第16回大会では、北海道から沖縄まで1000名近い方が参加され、台湾から13名、インドの方も2名出席されました。

私は次のようにご挨拶しました。

「PHPは基本的に心の運動、すなわち人間の内部の変革を求める運動です。しかし、心がどう変わるか、どう動いたかは、外に出して見せなければわかりません。

97-98年度のRI会長のキンロス氏のテーマは『Show Rotary Cares』です。日本語の訳は『ロータリーの心を』となっていて、これは名訳だと思います。ただしCARESというのは心の動き、具体的には気配り、愛情、思いやりを意味します。キンロス会長は、ロータリーの心を持っているなら、それを外に出して示しなさい、具体的に見せなさいと言っています。この世界から飢餓と貧困をなくし、不幸な子供や弱者をなくすために、先ず行動しようと言っている訳です。

これはPHP運動でも、非常に大切なことです。私どもも、内に秘めた素直な心を表に出し、明かるい世の中を築くよう努力しましょう。職業倫理の再構築や、思いやり運動を強化し、素直ウェーブをこの富山から日本中に広げましょう」と。

大会は各地PHP友の会や、経営者友の会の活動の成果と体験発表で盛り上がりました。

その後「緊急アピール」として、一連の不祥事件や未成年者の犯罪を生んだ社会の底流に対し、まちがったことは勇気をもって正すことが、私たち大人の責任であると「決議」されました。

2人の方から特別講演がありました。その一つは江口克彦PHP総合研究所副社長の「松下幸之助成功の法則」と題するもの。いま一つは中原誠・将棋永世十段の「将棋と人生」という題でした。

PHPは宗教ではなく、個人崇拜ありません。ロータリーもそうです。この宗教的でないところが、むしろ相似性を感じさせます。

言うまでもなく、ロータリーとPHPではその生い立ち、規模と歴史において決定的なちがいがあります。しかし人間の善意を幅広くネットワークし、「まじめ」と「けじめ」が高く評価される世の中をつくり、親睦や奉仕の輪を広げようとする「心」は、同じ方角を向いていると思います。

懇親会では、アトラクションで「越中八尾おわら風の盆」が演じられ、日本海の海の幸に舌鼓をうち、思い出に残る楽しい一夜となりました。

(筆者は全国PHP友の会会長)

地区大会R.I.会長代理 今井 篤氏（大館RC）に決定

本年度、田原ロータリークラブのホスト（コ・ホスト：田原パシフィックロータリークラブ）により11月8日・9日にわたって開催される第2760地区年次大会に、キンロスR.I.会長代理として大館ロータリークラブの今井篤氏が来訪される事となりました。

今井 篤

1926年3月31日生

所属クラブ 大館ロータリークラブ

職業分類 シニア・アクティブ（神経科）

役 職 医療法人和成会 今井病院 院長

勤務先住所 〒017 大館市片山町3-12-20

勤務先電話 0186-42-5858

自宅住所 〒017 大館市片山町3-11-2

自宅電話 0186-43-0827

<略歴>

1951年 東北大学医学部卒業
1951～'60 東北大学精神医学教室で研究
1958年 医学博士の学位授与
1960～'70 大館市立総合病院精神科科長
1971～現在 医療法人和成会今井病院院長

<ロータリー歴>

1973年 大館ロータリークラブ入会
1985～'86 大館ロータリークラブ会長
1993～'94 国際ロータリー第2540地区ガバナー

ポールハリスフェロー（12回）

米山功労者（2回）

文庫通信 120号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

—— 最新資料の中から ——

- ◎「標準職業分類一覧表 1997年版」 D.2600 1997年 88頁 [申込先 D.2600 TEL (0263) 36-8190]
- ◎「職業分類基準表 1997年」 D.2680 1997年 66頁 [申込先 D.2680 TEL (0795) 65-9222]
- ◎「職業奉仕事例集」 D.2680 1997年 68頁 [申込先 D.2680 TEL (0795) 65-9222]
- ◎「職業奉仕セミナー報告書—新会員教育セミナー報告書」 D.2680 1997年 56頁 [申込先 D.2680 TEL (0795) 65-9222]
- ◎「先達に学ぶ—職業奉仕とその周辺」 D.2780 1997年 48頁 [申込先 D.2780 TEL (0463) 91-2780]
- ◎「ロータリーと新世代への奉仕」 鳴海淳郎 1996年 11頁 [申込先 鳴海クリニック FAX (0977) 26-4085]
- ◎「きずな—家族週間エッセイ集」 D.2770 1997年 43頁 [申込先 D.2770 TEL (048) 648-7575]
- ◎「ロータリー情報集」 熊本グリーンR.C. 1997年 281頁 [申込先 熊本グリーンR.C. TEL (096) 354-4521]
- ◎「ロータリー理解のための年表 その時松戸は・日本は・世界は・ロータリーは・そして あなたは？」 稲葉八郎 1997年 65頁 [申込先 松戸R.C. TEL (0473) 66-2266]
- ◎「米山梅吉翁 人物写真集」 米山聡・大川孝昭編 1997年 229頁 [申込先 米山梅吉翁写真集出版会 FAX (0559) 87-8844]

〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

ロータリー文庫

分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数		
				'97年 7月1日	当月	増減
尾張第一分区	半田	100	3	68	68	
	常滑	98.57	4	71	72	1
	東海	97.81	3	59	61	2
	東知多	95.28	4	67	69	2
	半田南	100	3	69	69	
	知多	100	4	49	49	
	6RC	96.94		383	388	5
名古屋第一分区	名古屋	97.28	3	221	230	9
	名古屋西	98.35	3	142	149	7
	名古屋南	99.18	3	127	133	6
	名古屋港	100	4	128	131	3
	名古屋東南	100	3	89	92	3
	名古屋中	99.17	4	162	163	1
	名古屋瑞穂	100	3	102	101	-1
	名古屋大須	100	3	101	100	-1
	名古屋栄	99.68	4	80	80	
	名古屋名駅	96.41	4	102	107	5
	名古屋名南	76.31	4	89	91	2
	名古屋西南	100	3	54	55	1
	12RC	97.20		1,397	1,432	35
名古屋第二分区	名古屋北	100	4	112	112	
	名古屋東	96.62	4	114	114	
	名古屋守山	98.45	3	86	86	
	名古屋和合	100	3	108	110	2
	名古屋名東	98.80	3	83	82	-1
	名古屋名北	100	3	71	72	1
	名古屋千種	96.53	3	65	68	3
	名古屋昭和	99.05	3	69	74	5
	名古屋錦	96.39	3	64	66	2
	名古屋東山	99.37	3	54	54	
	10RC	98.52		826	838	12
東尾張分区	瀬戸	100	3	82	83	1
	犬山	100	3	83	84	1
	江南	100	3	73	75	2
	小牧	94.72	3	72	72	
	春日井	99.69	4	81	81	
	尾張旭	100	4	66	69	3
	名古屋空港	100	3	68	68	
	瀬戸北	98.94	3	69	69	
	岩倉	94.17	3	41	41	
	豊山一城北	95.24	3	57	56	-1
	10RC	98.28		692	698	6

分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数		
				'97年 7月1日	当月	増減
西尾張分区	一宮	98.90	3	92	94	2
	津島	100	4	87	87	
	尾西	99.59	4	61	62	1
	一宮北	99.11	4	84	85	1
	稲沢	97.51	3	65	69	4
	あま	99.67	3	104	102	-2
	西春日井	100	3	64	64	
	尾張中央	100	3	50	51	1
	一宮中央	98.67	3	75	75	
	9RC	99.27		682	689	7
東三河分区	豊橋	98.60	3	133	132	-1
	蒲郡	97.13	4	76	76	
	豊橋北	100	3	112	113	1
	豊川	100	3	80	80	
	田原	100	4	72	74	2
	豊橋南	98.96	3	73	74	1
	新城	93.39	4	68	68	
	渥美	92.82	3	65	65	
	奥三河	92.25	5	39	39	
	豊川宝飯	98.94	3	67	67	
	豊橋ゴールデン	99.70	4	83	83	
	田原パシフィック	96.37	4	76	76	
	豊橋東	100	3	37	38	1
	13RC	97.55		981	985	4
西三河第一分区	岡崎	99.67	3	121	124	3
	豊田	98.30	3	93	94	1
	岡崎南	99.50	4	115	115	
	豊田西	99.29	3	97	102	5
	岡崎東	98.85	3	93	99	6
	豊田東	96.94	3	97	98	1
	岡崎城南	99.56	3	77	78	1
	豊田三好	100	3	35	36	1
	8RC	99.01		728	746	18
西三河第二分区	刈谷	100	3	85	92	7
	安城	97.67	4	91	91	
	西尾	93.62	4	76	76	
	碧南	99.58	3	80	81	1
	一色	98.04	3	51	51	
	高浜	96.84	3	55	55	
	知立	99.44	3	57	60	3
	西尾KIRARA	99.72	5	72	72	
	8RC	98.11		567	578	11

地域内クラブ数 76RC

'97.7.1会員数 6,256名

増加会員数 105名

当月末会員数 6,354名

減少会員数 7名

当月平均出席率 97.73%

差引純増会員数 98名